FMC

2023年12月20日
ねぎの
シロイチモジヨトウに
適用拡大！

健全な生育をしっかり守る。

美しい作物にしあげる

薬剤のかかりにくい葉裏に潜む害虫にも、高い効果！

極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。3～4週間の長期残効。

ジアミド剤のプロ
FMCの卓効成分
シアントラニリプロール
（通称：サイアジピル®）
0.5%配合！

野菜用殺虫剤

プリロッソ® 粒剤 オメガ

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT

幅広い適用害虫

＊1、2 撮影地：長野県塩尻市 ＊3 提供：柴尾学氏

使いやすい、
さらさらの粒剤で、新登場！

プリロッソ®粒剤 オメガ

農林水産省登録：第24429号　プリロッソ粒剤オメガ
有効成分：シアントラニリプロール（通称：サイアジピル®）…0.5%

総合版

特長 1 薬剤のかかりにくい葉裏に潜む害虫にも、高い効果！

特長 2 極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。3～4週間の長期残効。

特長 3 ジアミド剤のプロFMCの卓効成分シアントラニリプロール（通称、サイアジピル®）0.5%配合！

適用害虫と使用方法

2023年12月20日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ アブラムシ類 アザミウマ類 ハイマダラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g	育苗期後半 ～定植当日	1回	本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
	コナガ、アオムシ ハイマダラノメイガ	1g/株	育苗期後半 ～定植時		株元散布	
	アブラムシ類、アザミウマ類	2g/株				
	ハイマダラノメイガ	苗地床1㎡当り100g	育苗期		散布	
はくさい	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g	育苗期後半 ～定植当日		本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内）
	コナガ、アオムシ ハイマダラノメイガ	1g/株	育苗期後半 ～定植時		株元散布	
	アブラムシ類	2g/株				
ブロッコリー	コナガ アオムシ アブラムシ類 アザミウマ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g	育苗期後半 ～定植当日		本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
	コナガ、アオムシ	1g/株	育苗期後半 ～定植時		株元散布	
	アブラムシ類、アザミウマ類	2g/株				
レタス	オオタバコガ アブラムシ類 ハモグリバエ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 （約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g	育苗期後半 ～定植当日		本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 （定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内）
	オオタバコガ、ハモグリバエ類	1g/株	育苗期後半 ～定植時		株元散布	
	アブラムシ類	2g/株				
ピーマン			鉢上げ時		育苗培土混和	4回以内（定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内、定植後の散布は3回以内）
	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類		育苗期後半 ～定植時		株元散布	
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ	6kg/10a	収穫前日まで	3回以内		4回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内（但し、株元灌注は1回以内））
トマト ミニトマト	コナジラミ類	2g/株	鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内（定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内、定植後の散布は3回以内）
	ハモグリバエ類、アブラムシ類 アザミウマ類、コナジラミ類、トマトキバガ		育苗期後半 ～定植時		株元散布	
なす	ハモグリバエ類、アブラムシ類 アザミウマ類、コナジラミ類					1回
なばな類	アブラムシ類		定植時			
きゅうり			鉢上げ時		育苗培土混和	4回以内（定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内、定植後の散布は3回以内）
	ハモグリバエ類、アブラムシ類 アザミウマ類、コナジラミ類		育苗期後半 ～定植時		株元散布	
すいか メロン	アブラムシ類					1回
だいこん	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 キスジノミハムシ、ネキリムシ類	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4回以内 （は種時までの処理は 1回以内、は種後の 処理は3回以内）
畑わさび	アザミウマ類 ワサビルリイロサルゾウムシ		収穫21日前まで		全面土壌散布	1回

⚠ 効果・薬害等の注意

- ●アルカリ性肥料との同時施用はさけてください。
- ●つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- ●みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- ●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- ●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ●密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管してください。

殺虫剤分類　28

殺虫剤抵抗性管理（IRM）

一般推奨事項：薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、プリロッソ®粒剤オメガまたは他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーション使用すること。作付期間（播種から収穫まで）を通して、適用されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
(1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト https://irac-online.org
(2) https://www.fmc-japan.com/trendinfo/irac

●ラベルをよく読んでください。　●記載以外には使用しないでください。　●小児の手の届く所には置かないでください。
●空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。　●防除日誌を記帳しましょう。

©2024 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

PRY-GHS3A

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目５番１号
ホームページ https://www.nissan-agro.net/
お客様窓口 TEL.03-4463-8271（9:00～17:30 土日祝日除く）

製品情報は
こちらから➡